

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|---|----|------|------|----|
| 会議名 (審議会等名) | | 相模原市社会福祉審議会第26回(平成28年度第2回) 高齢者福祉等専門分科会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | 保険高齢部 高齢政策課 電話042-769-8354(直通) | | | | |
| 開催日時 | | 平成28年11月14日(月)午後7時00分~午後9時00分 | | | | |
| 開催場所 | | 相模原市役所会議室棟1階第1会議室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 11人(別紙のとおり) | | | | |
| | その他 | 0人 | | | | |
| | 事務局 | 8人(高齢政策課長他7人) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | 1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1)平成28年度高齢者等実態調査について (2)高齢者一般調査及び高齢者介護予防調査について (3)介護保険認定者調査について (4)その他 4 閉 会 | | | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〇 は委員の発言、 △ は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

高齢政策課長あいさつ

3 議題

(1) 平成 2 8 年度高齢者等実態調査について

高齢者一般調査、高齢者介護予防調査、介護保険認定者調査について、調査目的、調査方法等について事務局から説明を行った。

質疑・意見等

調査対象者の人数は、国が決められているのか。前回の調査と比較して対象者数が増えている理由は何か。

国から調査人数に対する具体的な指示はない。よりニーズの把握を行うため件数を増やしたものである。

対象者の抽出はどのように行うのか。

日常生活圏域、年齢を考慮し、区分ごとに偏らないよう、無作為に対象者を抽出する。

(2) 高齢者一般調査及び高齢者介護予防調査について

高齢者一般調査及び高齢者介護予防調査の調査票の案について、事務局より説明し、委員から意見を伺った。

質疑・意見等

設問については、国から示されているものと、市の独自のものがあると伺ったが、国から示されている設問について、設問や回答の選択肢の表現を変更することはできるのか。

国からは、データ集計の関係上、表現の違いによって回答が変わる可能性があるため、変更をしないようにとの指示を受けている。

問 3 (3) 「 1 5 分位続けて歩いていますか 」 との設問について、 1 5 分とはどのような基準なのか。

ある程度運動ができるという判断をするための基準として考えており、総合事業の基本チェックリストにおいても使用している。

問4(2)「半年間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」との設問について、減少だけではなく、増加も設問に加え、体重の変化について聞いたほうが良いのではないかと。

この設問では、食べることについて聞いているが、高齢者は食が細くなってくるのが、大きな問題となるため、減少についてのみを伺うこととする。

問6(6)老人クラブへの加入していない理由を伺う設問において、「身近な地域に老人クラブがないため」という回答があったほうがよいのではないかと。

「その他」の選択肢で対応をいただくことを想定している。

問8の健康について、睡眠時間を伺う設問はなくても良いかと。

高齢者の睡眠時間は個人差があり、設問に加えなかったもの。

(3) 介護保険認定者調査について

介護保険認定者調査の調査票の案について、事務局より説明し、委員から意見を伺った。

質疑・意見等

在宅の要介護者を対象とするとのことだが、市内で対象者は何名いるのか。

約17,000人である。

回収率が前は高齢者一般調査と比較すると低かったように思えるが、その対応はどのように考えているのか。

前回3,000件の発送から7,000件として、サンプルとなる件数を増やしたいと考えている。

高齢者一般調査と介護保険認定者調査では、設問の文字の大きさは同じか。文字の大きさによっても回答しやすさは変わってくると思われる。

見やすく、回答しやすいようにレイアウトを工夫する。

問2「介護が必要となった理由について」の回答のうち、「脊椎損傷」は他の選択肢にある「骨折」に含まれるため、「骨髄損傷」と正確に記載したほうが良い。

「現在受けている医療的処置」の回答のうち、「胃ろう」は他の選択肢にある「経管栄養」に含まれる。また「ストマ」と「ストーマ」という表現が調査表全体を通じて混在しているので統一したほうが良い。

修正する。

介護保険認定者調査、高齢者介護予防調査については、母数に対して十分な件数であるが、高齢者一般調査については、対象者に対して調査人数が少ないと感じる。日常生活圏域ごとの傾向をつかむためにも、対象件数を増やしたほうが良いのではないかと。

今回調査を委託している会社にも確認を行ったが、この件数でも全体との意向

の誤差は5パーセント以内になると聞いている。市としても日常生活圏域ごとに結果を出していきたいと考えている。

(4) その他

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の基準緩和サービス、住民主体サービスが平成28年11月から開始したことについて事務局から説明を行った。

また、今後の開催予定について、事務局から説明を行った。

4 閉会

以上

相模原市社会福祉審議会第26回（平成28年度第2回）
 高齢者福祉等専門分科会 委員出欠席名簿

| | 氏 名 | 所 属 等 | 出欠席 |
|----|--------|----------------------------|-----|
| 1 | 相澤 由美 | 相模原人権擁護委員協議会 | 出席 |
| 2 | 石井 正彦 | 相模原市自治会連合会 | 出席 |
| 3 | 石黒 雄彦 | 相模原市老人クラブ連合会 | 出席 |
| 4 | 内田 紀子 | 相模原市私立保育園園長会 | 出席 |
| 5 | 大久保 祐次 | 一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会 | 出席 |
| 6 | 島森 政子 | 特定非営利活動法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 | 出席 |
| 7 | 土屋 敦 | 一般社団法人相模原市医師会 | 出席 |
| 8 | 戸塚 英明 | 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 | 出席 |
| 9 | 西本 敬 | 特定非営利活動法人相模原ボランティア協会 | 出席 |
| 10 | 原 裕子 | 相模原市民生委員児童委員協議会 | 出席 |
| 11 | 吉田 幸弘 | 相模原市歯科医師会 | 出席 |

（敬称略、50音順）

は専門分科会長、 は職務代理者である。